

JAC、奄美群島～沖縄/那覇間の新規路線を開設

～ 奄美群島国立公園指定の決定を受けて ～

2017年3月3日

JAC16-006号

JALグループの日本エアコミューター株式会社(本社:鹿児島県霧島市、以下「JAC」)は、奄美群島5島^(※1)の国立公園指定の決定を受けて、奄美群島内および奄美群島～沖縄/那覇間の航空ネットワークを充実させます。

今般、奄美群島が日本で34番目の国立公園に指定されることが決定されました。また、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産登録活動も進められており、奄美群島は日本国内はもとより、海外からもますます注目を浴びる地域となります。

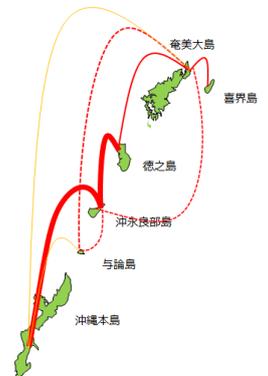
JACは奄美群島5島すべてに就航するエアラインとして、国立公園指定を契機にさらなる誘客や「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産登録活動への応援^(※2)などを通じて、ご地元とともに奄美群島から沖縄にわたるエリアの交流人口拡大に貢献してまいります。

(※1) 奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島

(※2) JALグループプレスリリース『JALグループは「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産登録活動を応援します』をご参照ください。<http://press.jal.co.jp/ja/release/201612/004084.html>

① 新規路線の開設

2018年度に徳之島=沖永良部(経由)=沖縄/那覇線を開設^(※3)します。この路線は、国立公園指定地区と世界自然遺産候補地を結ぶように、奄美大島～徳之島～沖永良部島～沖縄本島と次々に島を繋いでいくため、「奄美群島アイランドホッピングルート」と命名します。具体的な開設日や運航ダイヤなど詳細は、世界自然遺産登録の動向に合わせ、2018年度路線便数計画の中で決定します。(※3) 当局への申請、認可が条件となります。



② ATR42-600型機の投入

JACが奄美群島にて運航する機材を、現在のSAAB340B型機(36席。以下「SAAB」)からATR42-600型機(48席。以下「ATR」)に順次更新し、快適性と利便性を向上させます。2017年4月の鹿児島=沖永良部線への就航をはじめとして、同12月より鹿児島=喜界島=奄美大島線に就航予定です。2019年度までにSAAB全機をATRに更新する計画です。



③ 国立公園指定地区を対象とした「奄美世界自然遺産トレイル(仮称)」事業への協力

JACは、鹿児島県が取り組む奄美群島5島を対象とした「奄美世界自然遺産トレイル(仮称)」の整備やPR活動に協力します。詳細は今後、当該事業の進捗にあわせて関係者と調整し、適宜発表します。